

特定非営利活動法人

# さわやか北摂つうしん

編集発行:さわやか北摂広報部 川西市水明台 1-2-49 TEL 072-792-3532

## 代表理事に就任 原点を再認識

この度、大役を拝命いたしました。

久恒元代表のような方の後を引き継ぐというのは、大いなるやりがいがある半面、それ以上のプレッシャーに押しつぶされそうになる。

さわやか北摂は、お金もない、知識もない、のらないづくしの中、熱意だけで設立した団体で、23年経った今、会員数も700名を超え、たすけあい活動や居場所などの社会貢献活動と共に、公的サービスも充実させて、高齢者や障がい児者のサポートも行っている。

久恒氏は、見返りを求めない「無私の心」で、自身の欲より、人の幸せや喜びを生み出すことに努力を惜しまず、ひとつ一つ、とにかく一生懸命に「人とのつながり」を大切にしてきた。また、間違ったことは大嫌いで、ここぞという時は、誰に対しても敢然と立ち向かい、道を切り開いてきた。さわやか北摂が、地域から信頼され、このように長年、健全に運営できるのも、こうした確固たるリーダーが先導してきたからである。

さて、高齢者人口がピークになる2040年には、団塊世代が90歳、また団塊ジュニア世代が老後を迎える。高齢者人口は4000万人まで増え、総人口の3分の1を超える。社会保障費も現在の1.5倍強に増えるという。国民には、漠然とした将来不安が広がっている。それが消費低迷や出生率の低下を後押しし、悪循環にいたっている。国民全体に、将来を見据えて、どうしたらよいか。我々に何ができるかが問われている。



則久 昭代 画

ある男性会員は65歳で、何か自分にできることで役立ちたいと、入会された。ドライバー以外にも活動範囲は多岐に渡り、ボランティアの数々も。67歳で、介護職員初任者研修を修了され、現在障がい者サービスにも携わっている幅広い活動者。今の目標は、更衣介助が上手になりたいとのこと。汗を拭いながら、懸命に介助する姿には、人生の大先輩ながら、頭の下がる思いである。

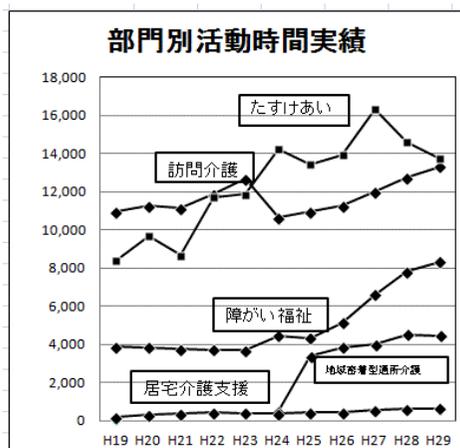
さわやか北摂には、このように前向きで、生きいきとした会員がたくさんいる。人の幸せの原点は、人から喜ばれること、人の役に立つこと。それが活力となり、また頑張れる。それが好循環になる。

地域の方々や、さわやか北摂のスタッフが、おしきせでなく、人の幸せや喜びを生み出すことに、自身をも重ねあわせ、これからも生きいきとした地域社会づくりをし続け、ここから社会に発信していきたいと、強く思う。

代表理事 高田 憲二

## 平成30年度第1回理事会・総会の開催

平成30年5月25日（金）さわやか北摂事務所にて、平成30年度第1回理事会・総会を開催した。平成29年度も、地域に根差したたすけあい活動や居場所、そして、チャリティバザーを通じての寄付活動などの社会貢献活動を今年度もしっかりと運営することができた。また、法人全体の収入は、前年度と比べ12%強の増収となった。スタッフ全員が、さわやか北摂を永く運営継続するために、NPOなら



では心が通うきめ細やかな気配りを忘れず、今まで以上に切磋琢磨し、各種業務に取り組んだ結果である。総会の合間には、久恒元代表の長寿の祝いの会が開催された。予期せぬハプニングで暖かいスタッフからのプレゼントに、久恒氏は、感激し、そのお返しに心を込めて城が島の雨を歌い、その気持ちに応えた。より一層全員の気持ちが一つに団結し、前向きになれた何ともあたたかい会であった。また最後に、かなりの厳しい条件をクリアしなければならない認定NPO法人を目指して、全員が一致団結して取り組んでいく旨の確認をした。（写真は理事会）

## 第15回「川西 NPO 法人ネットワーク交流会」に参加 兼 川西市新任「主任」職員研修



「川西市市民活動センター」の主催で、5月16日に市役所会議室にて新任の職員研修が行われた。毎年のように市役所職員、消防職員、病院看護師、保育士さんなど30名と、NPOは6団体の参加であった。

NPOは20の分野があるが、福祉、子育て、環境保全、障がい福祉、イベントボランティアなどが参加し、身近に意見交換を行った。

例年のことだが、NPOと云う言葉は聞いているが、活動内容は全く知らない人が殆んどで、地道な活動を知ってもらえるよい機会であった。

さわやか北摂は、9年前から地域の居場所づくりもしているし、「困った時はお互いさま」のミッションで助けあい活動も23年。7年半前からは大震災の支援活動にも力を入れている。市職員の方々から「目からうろこがおちた」と云われるのもムベなるかな・・・である。今後も社会貢献活動に一層力を入れていきたい。

◆◆ 認定NPO法人とは？ ◆◆

— さわやか北摂は「認定NPO法人」を目指します —

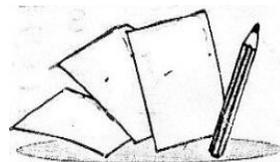
にしのみや法務・税理士事務所  
代表 本田圭（行政書士）

「認定NPO法人」という言葉を初めて耳にされる方も多いかと思えます。

現在、さわやか北摂さんは「NPO法人（特定非営利活動法人）」として、普通の法人（株式会社など）とは違い、営利を目的とせず社会貢献を目的として活動されています。

NPO法人には、一定の認証基準や情報公開などの義務があり、他の法人と比べて社会的信用が高く、またそのことにより団体の理念「困った時はお互いさま」に共感する人材や活動のための寄付金が集めやすいと言われています。しかし、それらのメリットも地域に根差した地道な活動が続いていることこそが大前提です。

そのNPO法人が認定を受け、「認定NPO法人」となるためには、その準備に少なくとも2年程度を要し、さらに厳しい基準をクリアする必要がありますが、「認定NPO法人」は社会的信頼がさらに増すこととなります。



また、「認定NPO法人」に寄付をすると税制優遇があるため、より一層寄付金を集めやすくなるなどのメリットがあることは勿論ですが、その取り組みによって組織が強化され、継続的に社会貢献活動を行うことのできる環境づくりへと繋がります。

現在、兵庫県内にはNPO法人が2,204団体あり（平成30年3月31日現在）、そのうち認定を受けているNPO法人は、41団体と1.8%程度です。また、川西市内にNPO法人は41団体ありますが、認定を受けているNPO法人は未だありません。

5月25日（金）に、さわやか北摂の通常総会が行われ、その場で平成30年度の事業計画が発表されました。そして、その事業計画の中には、新たな「認定NPO法人」の設立が含まれていました。

今後、川西市内において初となる認定NPO法人を立ち上げ、社会貢献活動をより継続的に行われることと思えます。その為の複雑な申請書類の作成や適正な経理、情報公開の徹底など、私も微力ながらお手伝いできればと考えていますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。  
（さわやか北摂 会計担当）

**認定NPO法人の名前を募集！** 締切日：平成30年7月10日必着

さわやか北摂は従来多種類の活動を広げてきましたが、この度、助け合い活動と居場所やボランティア活動のための助成金寄付など、社会貢献活動の部門を別にして、新たな法人を立ち上げ認定NPOを目指すことになりました。そこで、皆さまから新しいネーミングを募集いたします。

＜応募名の例＞

- ★NPO法人 さわやか 共栄会
  - ★NPO法人 さわやか 愛の会
  - ★NPO法人 さわやか 千の里
- 申請して通れば、頭に「認定」が付きます。お知恵をお貸し下さ〜い！！

# イベント いろいろ



## ハンドベル・チェリーズの演奏会

本物の金のベルはさすがに響きがちがいませぬえ。指揮者の手さばきも見事でした。



## オカリナ演奏会

明るいオカリナの音色がいくつも重なりあい、すがすがしい初夏にぴったりの演奏会でした。



## ギターアンサンブル・すばる演奏会

市内や市外でも演奏活動をしてこられた息の長いすばるさん。又来て下さいネ！と拍手は続きます。



## お琴と尺八演奏会

羽奈の会さんによるステキな演奏に正月とひな祭りが同時に来ました！黒1点の尺八もしぶいですねえ



## ハンドチャイム・のぼら演奏会

8名で奏でるハンドチャイムは、まるで大きなオルゴール！ 暫し時を忘れました。

## 兜飾り ドイツへ!!

寄贈を受けた、丈夫な箱から出てきた立派な兜飾り。50年以上を経て陽の目を見ました。チャリティーバザーに出す品物ではないので、早速ネット販売へ。すぐさまいいね！そしてドイツに在住しているというお身内の願いで、さわやかな風の翼に乗ってドイツへ旅立ちました。

「災害支援金」へのご協力に感謝します。



# デイサービス いろいろ



## 人間お雛さま

親王びな・・・ちょっと恥ずかしい  
内裏びな・・・一生の思い出です



## お鍋昼食

皆さんのアンコールに応じておでん鍋  
昼食。あったかくておいしかったわ



## 天狗岩公園でお花見

今年は早咲きでしたがキレイでした



## 脳トレに取り組む皆さん

今日は計算、ガンパロウ!



## おやつ作りの日

5月はこいのぼり・・・のドラ焼き作り



## デイの皆さんによる共同制作品

立派で満開の桜壁画です

さわやか北摂は多くの人々のご協力に支えられています

## ギャラリーオカダ

岡田 八郎・久美子

鶯が丘 ☎072-757-0859

## ＜さわやか北摂のご支援者・応援団＞

福田義則様 馬淵英男様 佐野隆二郎様 熊田孝子様  
中村公二様 海堀勝己様 梶原幸一様 川口千香子様  
田村龍司様 西田紘子様 藤原 昌様 久恒彩子様 坂村敬子様  
中谷雄吉様 今田博隆様 板井繁典様 中島賢治様  
岡崎信一様 藤井君子様 網野光勇様 草野静子様

## ☆ 第4回運営推進会議」を終えて ☆

半年に一度の会議を3月20日にデイサービス2階で開催した。決められた構成員は、地域包括・ケアマネージャ・家族代表・さわやかスタッフなど。今回は特別参加として、川西警察署生活安全課の小倉部長に来ていただき、振り込めサギの実態や手口など色々お聞きした。参加者からは、ここだけで聞くより自治会で大勢の人に聞いてもらいたい、との意見も出た。市内でも特に被害の多い当地区は高齢化と共にねらわれやすいので、気をつけるようアドバイスを



(小倉部長のお話)



### <ヘルパー定例会>

#### ◆◆ 倫理と法令遵守について ◆◆

公的介護サービスの提供において、法律を理解し、守る事はとても大切です。と同時に、人の命や尊厳に関わる仕事であることから、高い職業倫理も求められます。そこで今回の定例会ではホームヘルパーが持つべき倫理とは？守るべき法律にはどんなものがあるのか？と云うことを考える勉強会を開催しました。法律の中では「ヘルパーが行う医療行為の範囲」についてや「個人情報保護法」「感染症法」等を中心に学びました。

また、倫理の演習では「息子さんにたびたびお金を盗られて困っている高齢女性のAさん」から「恥ずかしいから誰にも言わないでね」と相談されたヘルパーのあなたはどのように対応しますか？と云う事例を紹介。グループに分かれて活発な意見の交換を行いました。「正しいこととは何か」「善い行いとは何か」人によってその価値感異なるものの、法律を守りながら倫理に沿って目の前の利用者さんと向き合う事。その当たり前の事を振り返って考える機会となった研修会でした。



### 「ふるさと納税」がNPOに？！

過日、或る新聞に、ふるさと納税の用途としてNPO団体に1部を渡し、行政だけでは担いきれない所を埋めてもらう仕組みづくりをしている、とあった。

佐賀県から始まり、埼玉県や東京中央区など他の自治体にも広がっているとか。寄付のあり方も多様化して、インターネット募金や、亡くなった後に遺産をNPO団体などに寄付する「遺贈寄付」にも関心が高まっていて相談窓口も多い。受けるNPOは用途や社会貢献活動などきちんと報告をして、感謝の気持ちを表すことは当然の義務である。

## 井戸知事 川西あじさい祭りに来所

第 17 回目となる 川西市下加茂県営住宅地の中庭にある、あじさい園・あじさい祭りに、今年も井戸知事が来られました。(6月2日)

知事命名の「若紫」も元気に花を付けていました。知事さんは白色からうす紫に変化するので若紫と名付けました、と。住民の方々の手入れもさぞかし・・・と思いつつ分分钟で動かれる知事さんを見送りました。



## 会員の家族から No2

### 認知症講演会に参加して

認知症になっても安心して暮らせる仕組み作りのための座談会に続いて、「認知症に対して、自分と家族、ご近所のために私達が出来ること」と題しての講演会に出席させていただきました。

今後、更に高齢化率の上昇に伴って認知症の増加が見込まれます。これに対して認知症になっても、住み慣れた自宅や地域で幸せに暮らし続けるためには、行政サービスのみならず、家族、住民のみんなで力を合わせる事が重要との内容でした。これについても、認知症に限らず「困った人を助けあう」というさわやか北摂の「助け合い活動」が役目を果たしていることを再認識しました。そして座談会で出された種々の案に対して、認知症の進行度合いに応じた具体策案について説明がありました。講演内容も含めて基本的なことは、「人は健康でも一人では生きられない」ことを念頭に、自己中心的ではなく互いに助け合う意識の向上が大前提だと再認識いたしました。(K, K)

## 川西市中央包括支援センター主催研修

### ●●● ケアマネージャーの交流スペース ●●●

年間数回行われる川西市の介護支援専門員が集まったの「交流スペース」。その第一回が5月18日に行われました。毎回テーマに沿った研修が行われる他、市内のケアマネ事業所をその所在地から地区別に分け、同地区でのグループで自由に話し合う時間も設けられます。少人数になるため、特に地域の抱える課題について共感も得られやすいです。今回は「日常生活支援総合事業」について、ヘルパー不足、職員不足のためなかなか基準緩和型サービスまで手が回らないということや、昨年あたりから状態は変わらないのに要介護から要支援に下がってしまう方が増えて、費用抑制の波を感じている事など意見が出ました。

## 予告!

毎年恒例の多田グリーンハイツサマーカーニバルが8月4日(土)、5日(日)陽明小学校校庭で行われます。今年は沢山の良品雑貨販売と無農薬有機栽培野菜の販売を予定しています。これらも「災害復興支援特別基金」に贈ります。ご協力下さい。

## 活動実績

	たすけあい活動 (件)	訪問介護 (件)	障がい者支援 (件)	水明台デイ (延べ人数)
H30.2月	816	1,090	429	348
3月	970	1,224	472	384
H29年合計	11,334	12,042	5,521	3,424
H30.4月	888	1,126	456	334
5月	944	1,185	464	361

## 震災支援金のご報告 No.7

東日本大震災後、日本各地で災害は起こっています。現地に行くことの出来ない私達は、NPOとして出来る範囲で支援活動をしています。今年は3月に多田トラ市、5月に日生リサイクルバザー、その他ネット販売も含めて資金集めをしています。7年4ヵ月で230万円を日本財団を通じて贈る事が出来ました。日本財団は国内だけでなく後進国の子供たちにも支援を広げておられます。チリも積もれば・・・と願いつつ、中間報告です。



写真左：

能勢電鉄多田駅の線路沿いで毎年開かれる多田トラ市。多くの人が集いました。能勢電鉄のゆるキャラ・ピョンちゃんも飛び入りしました。

写真右：

日生中央駅前の人の広場で行われたリサイクルバザーは若い人でにぎわいました。



竹端希功義（介護福祉士）  
介護職員の経験を生かして障がいサービスもしています。  
訪問介護にも力を入れています。



桑原 良子（サービス提供責任者）  
笑顔と明るさで人に寄り添い、日々の出会いを大切に歩んで参ります。

## 新スタッフ紹介

### ♥ ペットボトル2本のコイン頂く ♥

宝塚市在住で、川西市にある家屋を処分されるに当り、家財等バザー用に頂きました。

その際、宝塚の店舗で溜められたペットボトル一杯のコイン2本、7,611円を寄贈して頂きました。震災支援金として。感謝申し上げます。



## 募集

- ★たすけあい活動者 男女  
有償 週1回、1時間から可
- ★訪問ヘルパーさん 男女  
週1回、1時間から可